事務所が移転して1年が経ちました



2017年4月号 NO.108 (継続253号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 http://www.forest-kanagawa.jp 発行人 久保 重明 〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel046-297-0301・Fax046-297-0302

> 森林文化部会 第8回 森林文化講演会『日本の森林とシカ問題』開催される 日時:2月5日(日) 場所:桜美林大学 PFC(プラネット淵野辺キャンパス)

日本の森林とシカ問題

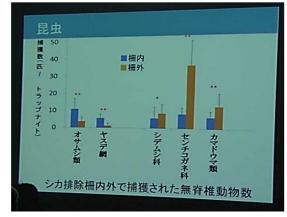
《 森林文化部会 真貝 勝 11 期 》

森林文化部会恒例の活動である森林文化講演会が桜美 林大学淵野辺キャンパスにて、講師に高槻成紀氏(麻布大学 いのち博物館上席学芸員)を迎え、2017年2月5日(日)に 開催された。今回で8回を数える。インストラクターの会51 名、一般 22 名、ECO-TOP3 名、新聞記者 1 名で合計 77 名 の参加があった。

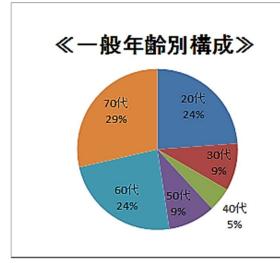
講演題目は、かながわ森林インストラクターの会のメンバー にとっては馴染みの深いシカ問題である。

講師の高槻氏は、①シカがいつごろから増え始めたか?②何で増えたか?③増えた結果どうなって いるのか?に関して焦点をあて講演された。

シカの増加は、1990年以降に増え始め 1990年後半 には急増するに至ると共に、全国各地へと被害も拡大し ている。シカが増加した背景として、温暖化という気象現 象(積雪量の減少)、ハンターの減少、森林伐採、牧場の 増加、農業人口の減少等に関して調べてみたが、その 傾向とシカの増加とは大きなタイムラグがあった。氏は、 一番の要因として農山村の衰退(過疎化・高齢化と施業 の減少)とシカの増加が関係していると主張した。1990 年代になると農山村の過疎化が急速に進み、雑木林が



利用されなくなり、シカと農地との接近が進んで、山地帯でひっそりと生き延びていたシカが徐々に数を 増してきたとした。



一方で、シカが増大した結果、シカの捕食による特定の 植物の増加・減少がみられるのは周知のことである。このよ うな直接被害の他に、植物を食料とする昆虫・鳥類の変 化、シカのフンを分解する昆虫の増加、下草減少による土 壌流出被害など間接被害についても言及された。

約2時間程の講演であったが、参加者からのアンケート 結果では説明が非常に判りやすく、シカ問題の現状の理 解が深まったとの意見が聞かれた。また、一般で20代の参 加者の方も有り、シカ問題への関心の高さが伺えた。

(写真撮影:高橋 修氏 9期)

平成28年度 "第3回やどりきの森へ行こう"

【春が来た!ミツマタ&モモンガの棲む森散策 】 ~やどりき水源林

平成29年3月18日(土)8:30~14:10 晴れ後午後曇り、参加者:34名

早春のやどりきの森は、暖かい春を待ちわびていた生き物たちの躍動あふれる生命力で一杯です。

水源林直行臨時バスの到着



広場でのオリエンテーション その後班毎(10班)で行動



♂シカ頭部の説明



幹に擦り付け痕跡のシカの毛



水源林入口で水源林全体の説明



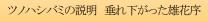
ヤブツバキとダンコウバイ&(拡大)



オニシバリ(ナツボウズ)の説明



山と川に向い深呼吸!急斜面に逞しく育つヒノキから香りが



フサザクラ(花芽)とハチの巣





ミツマタの群落へ

成長の森へ 直進、あと100m

その枝は必ず三又、樹皮には強い繊維があり、1万円札等の紙幣や証紙など重要な書類等に使用

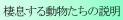








ジンチョウゲ科で よい香りです







ムササビの樹洞

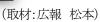
夜行性で姿見れず

シカ糞

帰路の林道コースに現れた ウソ(鳥) ♀(左)/♂(右)冬芽を啄んでいました



やどりきの森に行こう 29年度第1回は 6月3日(土)です。【**緑したたる森で癒やし体験**】



森のめぐみ シリーズ

第18回 高貴の木 ヒノキ

香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

枠組は桜の小枝です

スギと共にわが国の代表的な木、ヒノキ。ヒノキも スギと同じようにわが国の固有種です。植林された ものは別として天然に分布するものはわが国に限 られます。戦後、ヒノキはスギについで多く植林さ れ、人工植栽面積のおよそ 33%を占めています。 森林を歩くとスギ同様によく見かける木です。

特有の強い芳香をもち、光沢があり、木目が美し いので古くから建築材として好んで利用されてきま した。もう一つの大きな特徴は耐久性に優れている ことです。シロアリや木材腐朽菌に強く、長期保存 に耐えるので、古くから寺社仏閣の建築に重用さ れ、また、正倉院などの貴重な遺物を保存する所 蔵庫などに使用されてきたのです。古代遺跡から もよく発掘されることから古代からスギと同様、身近 な木であったと思われます。それが証拠に日本書 紀には素戔嗚尊(すさのおのみこと)が胸毛を抜い てまき散らしたらヒノキになったと記載されていま す。そこではヒノキは宮殿を造る材として利用すべ きとも記されているように、その時代に既に宮殿を 造るのに適した材であると考えらえられていたので す。世界最古の木造建築物である法隆寺、宇治平 等院鳳凰堂、伊勢神宮、正倉院など、現代に残る 著名な建築物にヒノキは使われています。

伊勢神宮のお宮を20年ごとにヒノキで建て替える 式年遷宮は690年の持統天皇の時代にはじまり、 今に続いています。

江戸時代に木曽は尾張徳川藩の管理下にありましたが、濫伐を防ぐために「木一本、首一つ」といった厳しい掟のもとにヒノキ林は保護されて立派なヒノキ林が生育し、秋田スギ、青森ヒバと共に木曽ヒノキは三大美林に数えられています。

6世紀中期にわが国に仏教が伝えられた時には 香りの強い白檀の仏像がもたらされましたが、わが 国には白檀が生育していないので香りが強いクス ノキが使われだしました。それが平安時代に入ると ヒノキが使われるようになったのです。美しい木目 と漂う木の香りが人々の心を安らげたことでしょう。



葉っぱ、特徴のY字





実(ヒノキボックリ)

ヒノキ材は特有の香りを持ちスギに比べて強さがあり、木肌も白く明るいので、おだやかな香りのするスギが庶民的なのに対して、気品の高いイメージを持たせます。そんなヒノキですが、ヒノキ材の香りには気分を鎮める鎮静作用があることが脳波なの測定から明らかにされています。ヒノキの香りは木材腐朽菌に対してだけでなくヒトの健康に関わるカビや細菌に対しても抗菌作用を発揮し、また、シロアリなどの木材を侵す害虫にも強さを発揮します。

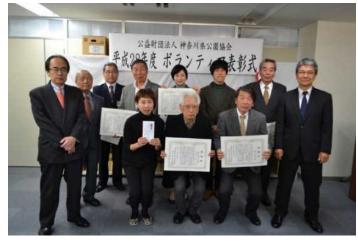
最近ではヒノキの香りがメタボリックシンドローム を抑制する効果があることもわかっています。マウスを使った実験ですが、ヒノキの精油を入れた高脂肪食を食べさせると、精油の無い場合よりも体重の増加が少なく、太る原因になるトリグリセライドが少ないことがわかったのです。ヒノキの香りが漂う中でもトリグリセライドが対照に比べて少ないこともわかっています。

(写真 大和市上和田の空地に残っているヒノキ 2017.03.)

12期生ボランティア活動グループ「森のなかま2012」が表彰されました

《 記 西出 健一 12期 》

3月3日、(公財)神奈川県公園協会本社で当公園協会が目指す「県民に安らぎと生活空間を提供する地域に根差した公園の適切な管理運営に大きく貢献した」ということで、かながわ森林インストラクターの会の12期生ボランティア活動グループ「森のなかま2012」が表彰され、宮下啓一会長、杉崎栄司氏が出席して感謝状と金一封をいただきました。これは、過去5年間、毎月1回、12期生有志が、戸川公園内の、間伐、枝打ち、下草刈り、除伐等の森林整



備のボランティア活動を行ってきたことが評価された ものです。

戸川公園は、交通の便が良いこともあって、週末には大勢の家族連れで賑わう県民憩いの場所ですが、 公園内の森林、森の自然観察ゾーン等、放置されている所があって整備が待たれておりました。現在、私たちの活動によって、それらが健全な森林に生まれ変わりつつあります。戸川公園の森林面積は広く、まだ時間は掛かりますが、着実に成果を上げて行きたいと思います。

また、私たちは、毎年10月に行われる「戸川公園祭り」にも積極的に参加して、来場者に「間伐した桧」を切る体験をしてもらうなど、私たちの活動のPRにも努めています。今回の表彰を励みに、これからも精力的に活動を続けてまいりたいと思っております。

活動短信

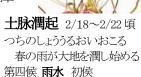
今回の掲載は平成28年12/3~平成29年2/22です。 寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降 の掲載になるものもあります。



無料イラストより

(左)橘 (右)雪割草

橘始黄 12/2~12/6 頃 たちばなはじめてきなり 橘の実が黄色く色づく 第六十候 小雪 末侯



◆ 富士通FIP(エフ・アイ・ピー)株式会社 間伐体験・自然観察・リース作り

<u>日</u> 平成28年12月3日(土)10:00~13:30、晴れ

場 山北町世附字日影山 富士通FIPの森(活動林)

参 米倉社長様他50名(男性40名 女性11名)

県 星様

☐ L上田⑩、菊地①、佐藤⑤、鈴木⑧、 小沢⑨、村井⑨、吉田⑪、石川⑫、薗田⑬、 真部⑬、大原⑬、斉藤⑬、牧石⑭ 真っ白な富士山が間近に見える晴天に恵まれ、絶好の活動日和となりました。インストラクターは8:45 にJR松田駅北口に集合し現地へ。

今日の活動は、最初に間伐グループと自然観察グループに分かれ、それぞれの活動が終わった後に全員集合し リース作りを行う盛りだくさんの内容。

10:10 に富士通FIP株式会社の皆様が現地に到着され、「富士通FIPの森」の前でオリエンテーションが行われ、富士通FIP株式会社の米倉社長、神奈川県水源環境保全課星主事のご挨拶を頂き、活動事務局から活動の説明の後二手に分かれて活動開始となった。

間伐班は6名ずつ5班に分かれ、自然観察班は7名と8名の2班で行った。

間伐の各班は2本を伐倒予定であったが、ほぼ順調に 作業が進み概ね予定時間には終了となった。

伐倒した杉の木の枝をリース作りの材料として収集し、 間伐作業中にスタッフが杉枝の仕分けと結束を行い事後 作業の準備をした。

丹沢湖ロッジに場所を移し、昼食の準備ができるまでの 45 分間みんなでリースづくりを行った。 時間がないことを心配していましたが、準備した材料を 目の前にした途端、インストラクターの説明に従って作業 を進めてゆきあちらこちらで少しずつですがリースが仕上 がってゆきました。短時間でよく集中して充実した一時を 楽しんでいた。未完成の人はお持ち帰り自宅での再挑戦 となった。

自然観察班は下見で推奨した、世附から丹沢湖の右岸 管理用道路を三保ダムサイトまで、約4キロの道を2班に 分かれて自然散策を行った。参加者の多くは、間伐を体験 済みで、今回は、自然散策を希望したとのこと。散策しな がら、森林のはたらき、水源の森林づくり、丹沢の成り立ち 等の話題も提供させていただいた。散策路の途中、富士 通 FIP の森(ネーミングライツ)の場所で、参加者全員での 記念撮影を行った。紅葉のピークは過ぎていたが、好天に 恵まれ、晩秋の丹沢湖畔の自然を満喫していただけたの ではないかと思う。

(記 薗田 栄哉 13 期、大原 正志 13 期)

◆ 小田原市立三の丸小学校 (森林環境教育)

日 平成28年12月6日(火)9:25~11:30、晴れ

場 小田原市いこいの森 地内

参 29名(小学5年生1クラス27名、教師2名)

| スタップ | 小田原市経済部農政課 | 小泉様、石井様 | 小田原市森林組合 | 佐藤様、井上様兄弟

□ L村井⑨、小沢⑨、木村⑭、立花⑭

三の丸小学校の生徒27名が元気一杯にわんぱくらん ど第3駐車場へ集合。

小田原市森林組合の佐藤様が本日のリーダーで出発 進行。5 班に分かれ活動場所に向け約20分位移動する。

まずは小田原市森林組合の井上様兄弟に伐採見学。かなり太い木の間伐作業を小学生が見ての感じは、それぞれの胸の内にどの様に刻まれたのか!

その間にインストラクターは本日の間伐体験の行われる場所へと進み、選木とロープ掛け及び活動場所の整備と 段取りを行って小学生を待つ。

対象木は枝打ちの終わった 15~20 年生のヒノキ林。 生徒達は代採見学で自分たちも切るぞーの意欲満々、 間伐の目的、方法、安全作業等のお話をして全員でノコ切 り体験、ロープ引き、コースター作成と短時間で有ったが お土産のコースターをザックにしまい、無事ヒヤリハットも 無く体験終了。出発時のバス停へ戻り終了式を済ませ、バスを見送った。天気に恵まれ生徒及び関係者一同満足された活動であった。

(記 小沢 章男 9期)



◆ 県民参加の森づくり

(間伐)

日 平成28年12月10日(土)8:30~13:30、晴れ

場 南足柄市塚原(塚原水源林)

参 73名

財 豊丸課長 鳥海様 看 小林様

□ L大澤⑩、柏倉④、相馬⑤、武者⑦、有坂⑧、 鈴木⑧、小沢⑨、辻村⑨、上田⑩、宮下⑩、 上宮田⑪、松本⑪、山口⑪、 江上⑬、古舘⑬、焼尾⑬

インストラクター及びスタッフは定刻どおり集合し事前に ーティングに入る本活動が今年(28年)は最後の県民参加 活動であることが伝えられる。

間伐対象木は枝打ちされた広範囲な作業場所である 事、又、対象木の細さから受口の口を作るまでもないが 「受け」側の水平切りだけは入れて対応するようにとリーダ ーから指示があった。

さらに、参加回数の多い程(ベテランの一般参加者)怪 我をしやすいので本数を稼ぐのではなく、丁寧な作業に 心がけ安全第一を目標に作業をすることを再確認し現地 へ向かう 5 班がさらに小グループとなり、2~3 人一組で の作業と広範囲に広がりを持たせた故に目配りが手薄に なった部分は、一般参加の(インストラクター)がカバーす る等の配慮が見られた。

また財団依頼の道具が不足した内容で届けられ倉庫内のロープ・間伐鋸での対応をするなどのハプニングには 関係者で持ち出し内容の再確認連携をすることを約束しておられた。

怪我報告では懸念していたベテラン参加者の作業終了間近のけがである左手人差し指を(鋸で切傷し)看護師の手当を受ける。その原因と改善案を皆で再確認し一層の目配りをすることを目標とした。

(記 上宮田 幸恵 11期)

◆ 県民参加の森林づくり (竹林整備) (平成28年度最終の活動)

|日| 平成29年1月14日(土)8:30~13:30、 晴れ

場川崎市麻生区

参 一般 73 名(男性 62 名 女性 11 名)

|財|| 豊丸課長、鳥海様、佐々木様 | 看|| 青木様

スタッフ 川崎市 池田様、遠藤様

川崎市公園緑地協会 野牛様、川瀬様、神奈川県森林組合連合会 井上様

L宮下⑩、相馬⑤、永野⑥、村井⑨、上田⑩、中元⑩、松山⑩、山口⑪、一重⑪、佐藤⑪、大橋⑪渡辺⑫、北村⑬、齊藤⑬、水上⑬、溝田⑬

研東⑫、伊東⑭

寒い一日でしたが天候も良く、絶好の竹林整備の活動 日。小田急線の栗平駅に参加者が集合。班編成を行い公 園まで移動。作業現場は、川崎市栗木山王山特別緑地。

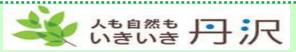
オリエンテーションでは川崎市みどりの協働推進課から のご挨拶、全体スケジュールや作業の手順、事故防止と 安全作業を説明。ストレッチ体操後、道具を片手にいざ作 業地に出発。現地はマダケ主体の竹林で、今までの竹林 整備でかなり伐採は進んでいる。

伐採、枝切り、玉切り、集積の仕方について、作業手順や安全対策を確認後、皆伐に着手。2時間ほどの作業で、事故もなく平地部の竹はほぼ皆伐が完了。見違えるほどきれいな緑地になりました。伐採は地際で切ること、作業のやりやすさや安全確保のため、2回切りとするなど、いわゆる川崎方式も定着してきた様相。竹チッパーの試験粉砕も試みられた。

公園に戻り昼食後、各班で作業の振り返りを行うと共に 要望をいただいた。参加者の皆様からは、竹林整備の規 模が大きくやりがいがあった、きれいに整備でき達成感を 感じた、他の竹林整備にも役立てることができるなどの声 を頂くことが出来ました。13 時前には公園を出発。栗平駅 での解散。

荒廃した竹林でしたが、明るい緑地に向かい始めました。これも参加者皆さんの活動の賜物。感謝の気持ちでいっぱいであります。

(記 宮下 修一 10期)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページでご覧ください。http://www.tanzawasaisei.jp/

◆ 県立21世紀の森 自然観察会 「冬の野鳥観察」

|日| 平成29年1月28日(土)9:00~14:00、晴れ

場 南足柄市県立21世紀の森

参 大人7名 男性4名 女性3名

スタッフ 21 世紀の森 平井様

イ L 石原®

観察会当日は、穏やかな晴天で絶好の探鳥日和となった。森林館でオリエンテーションの後、ロウバイ(蝋梅)の甘い香りに包まれながら出発。野鳥の種・数共に少なかったが、ウソやルリビタキなどの美しい冬鳥をじっくり観察することができた。

ラッキーな出会いにみんな大満足の様子だった。 メジロやコゲラの古巣、ヤマアカガエルの卵塊とオタマ ジャクシ、いろいろな動物の痕跡などの観察も楽しみなが

ら歩いた。昨年と比べてニホンジカ・イノシンの痕跡は確 実に増えているようだ。

(今回観察できた鳥類 姿14種・声12種)

(記 石原 和美 8期)

◆ 三菱重工株式会社 新入社員研修 (間伐体験)

日 平成29年2月3日(金) 13時30分~16時

場 相模原市緑区 長竹分収林

参 三菱重工新入社員等 23名

財星様、大西様

7 L上田⑩、木村⑭、立花⑭、小松⑭

インストラクターは12時現地着で事前準備及び活動についての打合せを行い。参加者の到着を待った。

13時20分バスが到着し活動が始まった。まず大西主事が挨拶を行い、リーダーから本日の作業の内容と安全管理についてオリエンテーションを行った。準備体操の後、間伐道具を身に着け間伐現場へと向かった。現場ではインストラクターが間伐方法を対象木の前で具体的に説明し間伐に取り掛かった。

各班伐倒時は笛で周囲に注意喚起しながら作業を進めていった。予定の1~2本を伐倒するとほぼ3時を過ぎた時間となり、各班で道具の確認を行い下山した。

道具の手入れの後、全員で記念写真を撮り、星主事の 締めくくりの話と本日の作業結果をリーダーが総括した。 最後に参加者は整列し県担当者とインストラクターに対し て礼儀正しく感謝の挨拶があった。

事故、ヒヤリハットもなく無事活動は終了した。

(記 小松 立史 14期)

◆ 緑の活動支援

「森の経路(丸太階段)づくり」

日 第1回 2月2日(木)9:30~13:00、晴れ 第2回 2月18日(土)9:30~13:00、晴れ 第3回 2月22日(水)9:30~13:00、晴れ

場 第1回 黒川よこみね特別緑地保全地区 第2回 久末特別緑地保全地区 第3回 高石特別緑地保全地区

川崎市内3か所の特別緑地保全地区において緑の保全活動を実施している団体に対して、団体構成員の経路づくり技量アップを目的に丸太階段づくりの研修会を3回連続で開催されました。まず最初に全体を眺めてどこに杭を打つのか、蹴上と踏み代どのくらいにするのか全体構成を確認して作業開始です。今回の丸太階段づくりでは特に杭打ち作業における安全確保を目的に、2名で手元ロープにて杭を固定しカケヤで打ち込む作業を習得していただきました。「巻き結び」で杭を固定するやり方にとまどっていましたが、次第に全員が習得し安全で正確に早く打ち込めるようになりインストラクターとしてはうれしい限りです。また、作業に夢中になり「いびつな階段」にならないよう、全体を見る監督役の必要性が確認でき有意義な研修会ができたと思いました

(記 松永 廣 11期)



かながわ森林インストラクターの会は 『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。 全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。 活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明 ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。 写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体·活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 神奈川県 環境農政局 緑政部 水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財 (公財)かながわトラストみどり財団、 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会·XX様

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者もお忘れなく!!) **活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。**

相模原市観光協会ホームページから "城山かたくりの里"

http://www.e-sagamihara.com/nature/flower/0367/個人所有の山林ですが、カタクリの咲く春のみ一般公開されています。 手入れの行き届いたカタクリは、慎ましくも艶やかに、冬の明けた春先を優しく彩ります。 珍しいキバナカタクリと白いカタクリの花も見ることができます。 所在地:相模原市緑区川尻 4307(城山かたくりの里)ホームページ:城山かたくりの里公式ブログ

http://blog.katakurinosato.com/

入園料 一人500円

開園期間 3月11日(土)から4月16日(日)まで 午前9時から日没まで

交通アクセス(公共機関): JR 横浜線・相模線、京王線 「橋本駅」北口より「三ヶ木」行きバス(橋 01 系統)、 「城山総合事務所入口」下車、徒歩 20 分。



やどりき水源林 ミニガイド

3月のトピックス

平成29年度のやどりき活動の説明 会が行われました。



(3/19 撮影、集会広場にて)

4月の水源林

匂うような本格的な春です。初旬には河原まわりの桜が、中旬には様々な花が、蛙のたまごやオタマジャクシ、鳥たちも。

「森の案内人」情報

案内人がご案内します。案内と事故 保険に無料です。

- ●実施時間: 毎週土曜・日曜・ AM10 時・PM1 時, 1~2 時間程度
- ●集 合:水源林入口ゲート前
- ●内容:森林インストラクターが自然 観察にご案内します。森林のしくみ 手入れなどについて説明致します。 参加自由、参加費無料
- *10 人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- ●問合せ:(公財)かながわトラスト みどり財団 TEL:045-412-2255 FAX:045-412-2300
- ホームページ: http://www.ktm.or.jp
- E-mal: midori@ktm.or.jp
- ●やどりき水源林までの道順 小田急線新松田駅または JR 御殿場 線松田駅下車、富士急湘南バス「寄 (やどりき)」行き乗車約 25 分。バス 下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

Earth Day Tokyo 2017 開催!

日程:4月22日(土)10:00~19:00/4月23日(日)10:00~19:00 ※雨天決行 会場:代々木公園(イベント広場・ケヤキ並木)

来場:12 万人(予定) 主催:アースデイ東京 2017 実行委員会 (実行委員長 C.W.ニコル) <入場>無料

Earth Day Tokyo

<お問い合わせ> 【アースデイ東京事務局】

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-15-3 プリメーラ道玄坂 604 office@earthday-tokyo.org TEL: 03-6455-3702 FAX: 03-6455-3703 詳細はこちら!

http://www.earthday-tokyo.org/

◇ 森のなかま原稿募集 ◇ 会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ> 松本 保

 ${\tt Mail}: {\tt \underline{matsutamori@jcom.\, zaq.\, ne.\, jp}$

Tel: 090-7962-3168 **<電子配信担当> 赤崎 さほり**

Mail:s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel:090-6150-6173 **<メール・手書き原稿送り先>**

【本誌】松本 保 〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17 Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123 Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd. biglobe. ne. jp

【別冊は CC を】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp 原稿は随時受付けています。

松田町寄地区のしだれ桜は樹齢が150年等、とても長く、

立派なしだれ桜が多くあります。 松田町観光課

http://letsgo-matsuda.com/

山麓の オアシス 〜お食事処〜 美酒もお待ちしています

松田地区 • **最明時史跡公園** 寄地区

- ・土佐原(岡部邸)しだれ桜
- ・萱沼しだれ桜
- ・中山しだれ桜
- ・中津川(大寺橋たもと)宇津茂しだれ桜
- ・虫沢しだれ桜
- ・中津川沿い しだれ桜
- ・管理センター駐車場
- ・ドックラン・養魚組合前

森のなかまは過去号もご覧になれます。 (ホームページ) http://www.forestkanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01 (HP 担当 : 井出恒夫)

編集後記

★中学校と小学校の卒業式に出席しま した。たった3年でこんなにも成長する んですね。あと3年後はどうなっている のでしょうか…?

(赤崎)

★近くの湯殿川を散歩していたら、オオ タカがキジバトを捕まえていました。猛 禽類の凄さにショック!

(刊刊)

- ★別冊の編集を6年間担当し、本号をもって最後とさせていただくことになりました。今度は別の場で頑張ります!!
 (水口)
- ★花粉の飛散のピークを迎え、日々往 生しています。

先日杉林に行きましたが、真下は意外と 大丈夫でした。

(薗田)

★3月11日の成長の森植樹祭に孫で申し込んであり、久しぶりに一般で参加しました。60年くらい前の小学生の時に杉苗を背負い上げ植えた時の家族で楽しかった事が思いだされました。山は森林はいいですね。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで ご寄附2000円をお振込み下さい。振 替用紙には、必ず、住所、氏名を明記し て下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年 間お届け致します。

編集人: 松本 保 事務局: 福島 正治

広報部: 水口俊則 赤崎さほり

小川和恵 薗田栄哉 大塚晴子 小池 哉

支援 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

ち